

令和 2 年度

安全報告書

 水島臨海鉄道株式会社



1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
また、平素は鉄道事業に対してのご理解、ご協力を感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道株式会社 代表取締役社長 伊東 香織

2. 輸送の安全を確保するための基本の方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」として定め、社長以下社員全員に周知徹底しています。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

(2) 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。令和2年度は、「ルールを知る 基本を守る よいか確認? その作業」をスローガンに、社員一同「無事故達成」に向けて取り組みました。

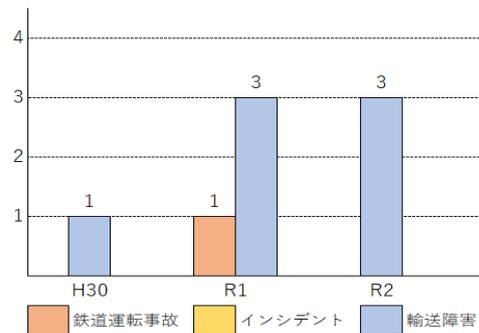
なお、令和3年度は「気を抜くな 慣れた作業も丁寧に 初心を忘れず安全確認」をスローガンに掲げ、運転事故「0」、労働災害「0」を目指して取り組む所存です。

3. 令和2年度の事故発生状況

令和2年度は、鉄道運転事故の発生はありませんでした。輸送障害は、旅客列車の「車両故障」が1件、社員の取扱い誤りによる「転てつ器破損」と「積付不良」が各1件発生し、計3件の発生となりました。

【令和2年度 事故発生件数】

- | | |
|------------|----|
| (1) 鉄道運転事故 | 0件 |
| (2) インシデント | 0件 |
| (3) 輸送障害 | 3件 |



4. 安全確保の取組み

(1) 安全推進会議

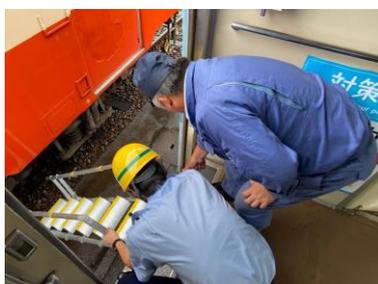
運転事故や労働災害防止に関する事項を審議し、有効な対策の策定、推進を行うことを目的として本社において隔月で開催しました。

自社、他社で発生した事故例を基に、グループ会社も参加して、対策等を検討・討議して事故防止に努めました。

(2) 乗務員指導訓練の実施

全乗務員に対して、計画的に教育・訓練を実施し、車両故障時等の迅速な対応等を含め、資質の維持・向上に努めました。

全運転士に対して2回以上の添乗を実施し、作業実態の把握に努めました。



(2)



(3) 異常時訓練の実施

① 「踏切事故発生」時の対応訓練の実施(10月8日)

「踏切内で列車と乗用車の衝突事故が発生」を想定して 119 番通報から復旧までの訓練を行いました。倉敷消防署と合同で実施したことにより、実際の事故車両と救急車を使用することができ、臨場感のある貴重な訓練となりました。〈参加人数：9名〉



② 「震度6弱の地震発生」を想定した対応訓練の実施(11月27日)

地震発生時におけるお客様の安全確認と運転取扱い及び社員の安否確認等について、連絡体制、確実な情報伝達及び指示方について訓練を行いました。〈参加人数：16名〉



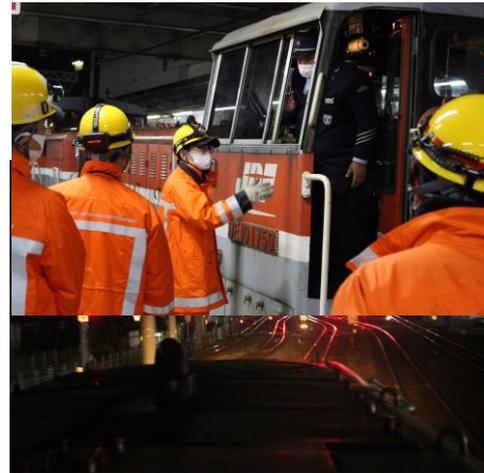
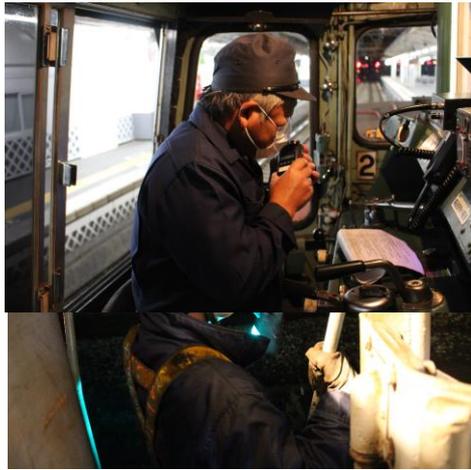
③ 「車両故障発生時の救援及び非常報知灯点灯」時の対応訓練の実施(12月12日)

JR 西日本、JR 貨物及び水島臨海鉄道による合同での異常時訓練を実施し、会社間の連携を確認しました。

特に、倉敷駅社員や輸送指令員間において、相互に対応方を確認し合うことにより、今後のスムーズな復旧に向けての訓練となりました。

〈参加人数 10名〉





(4) 年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施（12月10日～1月10日）

年末年始期における輸送の安全確保及び事故防止に万全を期するため、本社社員による現場点検を実施して、各職場の安全確保の取組みについて確認・指導しました。

また、繁忙期となる年末には、本社社員による列車添乗を実施し、安全・安心輸送の確保に努めました。

(5) 踏切事故防止キャンペーンの実施（11月1日～11月10日）

踏切事故防止キャンペーンの取組みとして、踏切道、踏切保安設備等の点検整備を実施しました。

また、児童、学生の通行量が多い「村東道踏切」と工場に出入りする大型トラックが集中する「板敷踏切」において事故防止のチラシを配布するとともに踏切事故防止の呼びかけを行いました。（11月6日）

併せて、期間中は、本社・各現場に立て看板の設置と、車内放送により踏切事故防止の啓発活動を実施しました。



(6) ヒヤリ・ハットの推進

全社員参加による運転事故、労働災害防止を推進するため、ヒヤリ・ハット運動の定着化に努めました。現場長から関係社員へ積極的に声掛けをするとともに、報告しやすい環

境整備と雰囲気醸成に努めました。

また、報告された内容は、安全推進委員会で紹介して、社員やグループ会社等へ共有化を図りました。

(7) 安全のための駅・車両及び施設の整備・点検等の実施

安全性の維持・向上を図るため、駅・車両及び施設等について投資や点検、整備を実施しました。

【新型コロナウイルス感染症対策】

- ・旅客用全車両に対して空気触媒セルフフィールド噴霧による抗菌工事を実施。



- ・倉敷市駅を空気触媒セルフフィールド噴霧による抗菌工事を実施。



- ・倉敷市駅待合室に非接触検温装置を設置（1月27日）

【自動放送装置の設置】

- ・インバウンド対応のための多言語案内設備の導入（ハ38-104：2月24日）

【車両の保守点検】

- ・車両の保守・点検整備の実施

- ◆月検査 45両（気動車…35両、機関車…10両）
- ◆重要部検査 2両（気動車…2両）
- ◆全般検査 1両（気動車…1両）

【施設の新設・改修】

① PC枕木化工事（港東線）

【完成】



② 倉敷市駅バリアフリートイレ設置



③ 東水島駅構内通路コンクリート及び舗装工事

【着工前】



【完成】



④ 防犯カメラ設置工事
（倉敷市駅・三菱自工前駅）



三菱自工前駅取付後

- ⑤ 通信ケーブル更新工事
西富井駅～福井駅間 3 k 781m～4 k 261m L = 506m
- ⑥ 電気転てつ機取替工事（水島駅 54イ・54ロ号）

【取替前】



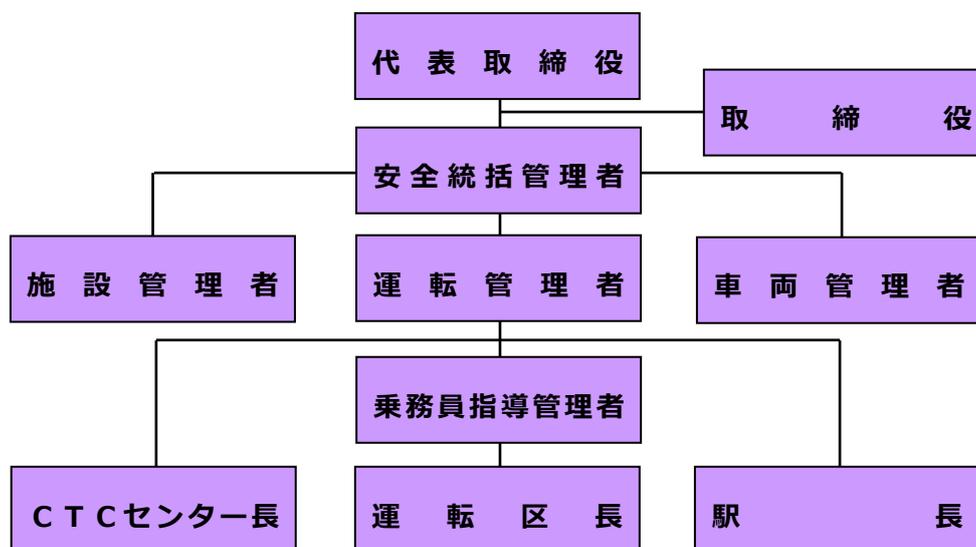
【取替後】



電気転てつ器 54ロ号

5. 安全管理体制図及び役割分担

体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する